網走桂陽高校　図書だより　2022/03/22 発行　　文責：川口修平

# ほんよも No.024

# 新しい本が入りました!!

今年度最後の購入本が届きました。もう貸し出せる状態になっています。今回の目玉は、進路指導部長・熊谷先生イチオシの投資マンガ『インベスターZ』。進路関係の本もたくさん入りました。ぜひ図書室へ！

インベスターZ　1～10（三田紀房）
ゴールデンカムイ　1～28（野田サトル）
黒牢城（米澤穂信）
同志少女よ、敵を撃て（逢坂冬馬）
塞王の楯（今村翔吾）
赤と青とエスキース（青山美智子）
六人の嘘つきな大学生（浅倉秋成）
新しい星（彩瀬まる）
残月記（小田雅久仁）
闇祓（辻村深月）
夜が明ける（西加奈子）著
殺した夫が帰ってきました（桜井美奈）
彼女が最後に見たものは（まさきとしか）
どうかこの声が、あなたに届きますように（浅葉なつ）
機龍警察（月村了衛）
機龍警察　未亡旅団（月村了衛）
機龍警察　白骨街道（月村了衛）
機龍警察　暗黒市場（月村了衛）
機龍警察　自爆条項（月村了衛）
機龍警察　火宅（月村了衛）
看護師をめざすあなたへ（髙橋則子）
今からはじめる！就職へのレッスン（杉山由美子）
スポーツで働く（谷隆一）
アニメ業界で働く（小杉眞紀）
ゲーム業界で働く（小杉眞紀）
自衛官になるには（岡田真理）
作業療法士になるには（濱口豊太）
地方公務員になるには（井上繁）
ネイリストになるには（津留有希）

栄養学部：中高生のための学部選びガイド（佐藤成美）
獣医学部：中高生のための学部選びガイド（斉藤智）
教育学部：中高生のための学部選びガイド（三井綾子）
法学部：中高生のための学部選びガイド（山下久猛）
工学部：中高生のための学部選びガイド（漆原次郎）
文学部: 中高生のための学部選びガイド（戸田恭子）
社会福祉学部：中高生のための学部選びガイド（元木裕）
農学部：中高生のための学部選びガイド（佐藤成美）
経済学部：中高生のための学部選びガイド（山下久猛）
看護学部・保健医療学部：中高生のための学部選びガイド（松井大助）
国際学部：中高生のための学部選びガイド（三井綾子）
経営学部・商学部：中高生のための学部選びガイド（大岳美帆）
教養学部：中高生のための学部選びガイド（木村由香里）
環境学部：中高生のための学部選びガイド（大岳美帆）
外国語学部：中高生のための学部選びガイド（元木裕）
社会学部・観光学部: 中高生のための学部選びガイド（中村正人）
理学部・理工学部: 中高生のための学部選びガイド（佐藤成美）
海自オタがうっかり「中の人」と結婚した件。（たいらさおり）
大人も知らない!?　SDGs なぜなにクイズ図鑑（笹谷秀光）
世界がぐっと近くなる SDGs とボクらをつなぐ本（池上彰）
こども SDGs：なぜ SDGs が必要なのかがわかる本（秋山宏次郎）
マンガで世界を救うぞ！　SDGs マンガ化計画
SDGs〈持続可能な開発目標〉（蟹江憲史）
１日１話、読めば心が熱くなる365人の仕事の教科書（藤尾秀昭）
ビーカーくんとそのなかまたち（うえたに夫婦）
ビーカーくんのゆかいな化学実験（うえたに夫婦）
ビーカーくんとすごい先輩たち（うえたに夫婦）
マンガと図鑑でおもしろい!わかる元素の本（うえたに夫婦）
世界一やさしい！栄養素図鑑（牧野直子）
クモのイト（中田兼介）

## ～全ての始まりは感染症だった～

# 『天冥の標（てんめいのしるべ）（全 10 巻）』（小川一水）

### 内容・あらすじ

西暦 2000 年代初め、死亡率 95%という凶悪なウイルス性感染症が発生し、パンデミックを引き起こします。顔に黒い斑紋が浮き出ることから「冥王斑」と名付けられたこの病気は、回復してもウイルスが消えないため、感染してしまった患者は一生隔離されることに。その後人類は文明を進歩させ、宇宙へ進出しますが、「冥王斑患者群」は常に差別を受け、虐げられます。500 年後、恨みを爆発させた「冥王斑患者群」は異星人の助けを借りて人類に宣戦布告。その結果、両陣営ともに壊滅的な被害を受け、人類は滅亡の危機に瀕します――。

### 川口先生の感想

私は、日本が生み出した SF 小説の中ではこの作品が No.1 だと思っています。異星人コンタクト・宇宙戦争・アンドロイド・人体改造・人類甲殻化・情報生命体等々、SF の要素がこれでもかというくらいに詰め込まれ、くわえて政治ドラマや冒険活劇の要素もあり、読みごたえは十分です。物語の全ての始まりが感染症である、という点もコロナ禍の今だからこそ興味深く読めます。

全 10 巻と長いですが、最初の 1 巻で多くの謎・伏線が提示され、その後の巻で謎が次々と明かされていくので、一度読み始めると止められなくなります。後半の怒濤の伏線回収はまるでジェットコースターのよう。「序盤のあの話がこんなふうにつながってくるのか！」という興奮を何度も何度も味わえます。長大なシリーズものならではです。こんな長大なストーリーを一つの矛盾もなく着地させているのがすごい。私は去年の 8 月から 9 月にかけてずっとこれを読んでいて、読み終えてから「天冥の標ロス」状態になりました。

SF 作品が好きな人には本当にオススメです。

図書購入希望リクエストはこのフォームで受け付けています！→